

令和5年2月14日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問） 幼児教育アドバイザー訪問事業について

今年度、どの程度の園・所等に訪問を行ったのか、これまでと比較すると、どの程度増減しているのか、教育長に伺う。

また、園・所等への訪問支援を増加させるために、どのような取組を行っているのか、併せて教育長に伺う。

（答）

幼児教育アドバイザー訪問事業につきましては、これを活用したほぼ全ての園所から「自分のところの良さや課題等が明確になり、自身の教育・保育の改善につながった。」との評価をいただき、高い効果を上げていると認識しております。

他方で、アドバイザー訪問の意義や効果を十分に伝えきれていなかったことなどから、訪問園所数につきましては、事業を開始した平成29年度からの5年間で360園所にとどまっておりました。

そこで、第2期プランにおきましても、アドバイザー訪問事業を最も重要な取組の一つに位置付けるとともに、県内全ての園所への訪問を目標に掲げ、取組を進めることといたしました。

目標の実現に向け、未訪問園所への効果的な働きかけとして、具体的な支援内容や時間数、利用者の声を分かりやすくまとめたガイドブックを作成・配付するとともに、私立の幼稚園が加盟する関係団体主催の研修会において、私も含め、乳幼児教育支援センターの職員が、この事業の意義や効果を直接アピールしてまいりました。

またこれに加え、質の高い絵本をセットで園所に貸し出す「絵本の配達便」事業の機会を活用し、アドバイザーによる積極的な訪問を進めてまいりました。

その結果、これまでの5年間の平均では、新規の訪問は1年当たり70園所程度でございましたが、今年度は1年間で、約250園所へと増加しております。

引き続き、幼児教育アドバイザー訪問事業を進め、全ての園所において教育・保育の質の向上が図られるよう、しっかりと取り組んでまいります。